

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門基礎	公衆衛生学	講義	4	80	
学科 ・ 学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
鍼灸学科 1学年	久保田 明美	☐ 有 ☒ 無	特記事項なし		
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
公衆衛生の目的は人間集団の疾病の予防、健康の保持・増進を達成することである。その公衆衛生を、感染症の克服の歴史疾病構造の変化、代表的な指標などから理解する。特に、生活習慣病、食品衛生、環境保健、産業保健、母子保健、高齢者保健、および介護などを十分に理解する。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
公衆衛生学では、広く人々の健康にかかわる事項を学習する。我々の祖先が如何に社会の中で「人々の健康」ということを構築してきたか、公衆衛生の歴史を踏まえながらその理念を学ぶ。また、公衆衛生活動の実際を分野別に学習する。健康が多くのファクターからなることを確認し、人々の生命及び生活の質を高めるために、これからの少子・高齢社会において求められることを広い視野に立って考えていく。一方、国家試験対策として重要なポイントは、それぞれの分野で口頭だけでなくできるだけ板書するように努めるので、3年次国家試験勉強の際参考にさせていただきたい。					
教科書・参考書					
教科書：東洋療法学校協会「衛生学・公衆衛生学」第2版 参考資料：総務省・厚生労働省統計資料等					
受講時留意点、その他					
【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。 授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。（公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします）。					
【 受講科目受講時留意点 】					
●公衆衛生学の各章の課題は日常生活に関係深いことが多いので、教科として学ぶこと以上に自分の身近な生活習慣や健康問題、環境問題などと結びつけながらとらえてほしい。 ●定期試験並びに国家試験に必要な事項は極力板書するように努めるので、板書事項は試験対策に活用してほしい。 授業内で時間的に板書しきれない部分に関しては、資料として印刷物を配布するので板書事項同様活用してほしい。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	前期定期試験、後期定期試験、小テストおよび提出物（定期本試験のみ加点の加算）			
その他	0				
（合計）	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		授業の進め方、試験について 第1章 衛生学・公衆衛生学の歴史と公衆衛 生活動 P. 1～		/	久保田
2		第2章 健康の概要 P. 11～ プライマリ・ヘルスケア 疾病の予防 健康管理 衛生行政		/	久保田
3		衛生行政（保健所、市町村）		/	久保田
4		医療保障		/	久保田
5		第3章【ライフスタイルと健康】 P. 41～ 食品と栄養		/	久保田
6		食品と栄養 食品添加物		/	久保田
7		食中毒 ①		/	久保田
8		食中毒 ②		/	久保田
9		第4章【健康と環境】 P. 75～ 物理的環境要因		/	久保田
10		化学的環境要因 空気 大気汚染		/	久保田

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		上水・下水		/	久保田
12		BOD COD 有害化学物質P. 106 金属 廃棄物 生物学的環境要因		/	久保田
13		公害		/	久保田
14		地球環境問題		/	久保田
15		第5章【産業保健】P. 135～ 労働衛生行政		/	久保田
16		労働環境と健康 労働災害		/	久保田
17		業務上疾病		/	久保田
18		第6章【精神保健】 P. 145～ 意義 障害の現状と分類		/	久保田
19		精神障害者に対する医療および保護		/	久保田
20		練習問題 国家試験対策		/	久保田

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		第7章【母子保健】P. 161～ 意義 母体の健康 乳幼児の健康		/	久保田
22		乳幼児の健康		/	久保田
23		第8章【学校保健】P. 171～ 保育教育 保健管理		/	久保田
24		学校感染症		/	久保田
25		学齢期の健康状態		/	久保田
26		第9章【成人・高齢者保健】P. 187～ 加齢と高齢		/	久保田
前期試験(授業外実施)					
27		生活習慣病の特徴と対策		/	久保田
28		高齢者の保健福祉対策		/	久保田
29		介護保険		/	久保田
30		第10章【感染症とその対策】P. 205～ 意義 病原体の種類		/	久保田

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
31		感染症予防の原則 感染症法 発生要因		/	久保田
32		感染症予防の原則		/	久保田
33		免疫 予防接種、ワクチンの種類		/	久保田
34		第11章【消毒法】P. 227～ 消毒種類		/	久保田
35		消毒の実際		/	久保田
36		医療関連感染 医療廃棄物		/	久保田
37		第12章【疫学】P. 247～ 概念・意義 研究		/	久保田
38		第13章【保健統計】P. 257～ おもな保健統計①		/	久保田
39		第13章【保健統計】P. 257～ おもな保健統計②		/	久保田
後期試験(授業外実施)					
40		練習問題 国家試験対策		/	久保田